

竹林化学工業株式会社

東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL: 06-6721-6165 FAX: 06-6720-7308

### ウレタン防水施工仕様例 (1)

下地 : モルタル (何も塗られていない場合)

工 程	使 用 材 料	使 用 量	方 法	作 業 間 隔 <sup>※1</sup>
下地洗浄	・水道水、デッキブラシにて下地を洗浄 洗浄		油汚れがある場合は、中性洗剤を用い	十分に乾燥後
下地処理	・クラック (ヒビ割れ) がある場合はタケシール No. 400 プライマーを塗布した上、タケシール速乾カクシーラントを充填しヘラ等で平滑化			3 時間以上 72 時間以上
プライマー塗布 1 回目	タケシール No. 400 プライマー	0.25kg/m <sup>2</sup>	タケシール No. 400 プライマーをローラー、刷毛で下地に均一に塗布 <b>(液溜まりができないよう均一に)</b>	2 時間以上 12 時間以内
プライマー塗布 2 回目	タケシール No. 400 プライマー	0.25kg/m <sup>2</sup>	タケシール No. 400 プライマーをローラー、刷毛で下地に均一に塗布 <b>(液溜まりができないよう均一に)</b>	3 時間以上 12 時間以内
ウレタン防水材塗布 1 回目	タケシール 1 液 NEO プラス	1.0kg/m <sup>2</sup>	タケシール 1 液 NEO プラスをローラー、刷毛で下地に均一に塗布	24 時間以上 72 時間以内
ウレタン防水材塗布 2 回目	タケシール 1 液 NEO プラス	1.0kg/m <sup>2</sup>	タケシール 1 液 NEO プラスをローラー、刷毛で下地に均一に塗布	24 時間以上 72 時間以内
トップコート塗布	タケシール#3500 トップ	0.15kg/m <sup>2</sup>	(1) タケシール#3500 トップ の B 液 1kg に対し A 液 1kg の割合で加え、攪拌棒で均一に攪拌して塗布液を作製 (2) (1) で作製した塗布液をローラー、刷毛等で下地に塗布 (ローラー等で塗布液を軽く攪拌しながら塗布)	直ちに 養生: 7 時間以上

\*1 作業間隔は気温 20℃晴天時の場合のもの

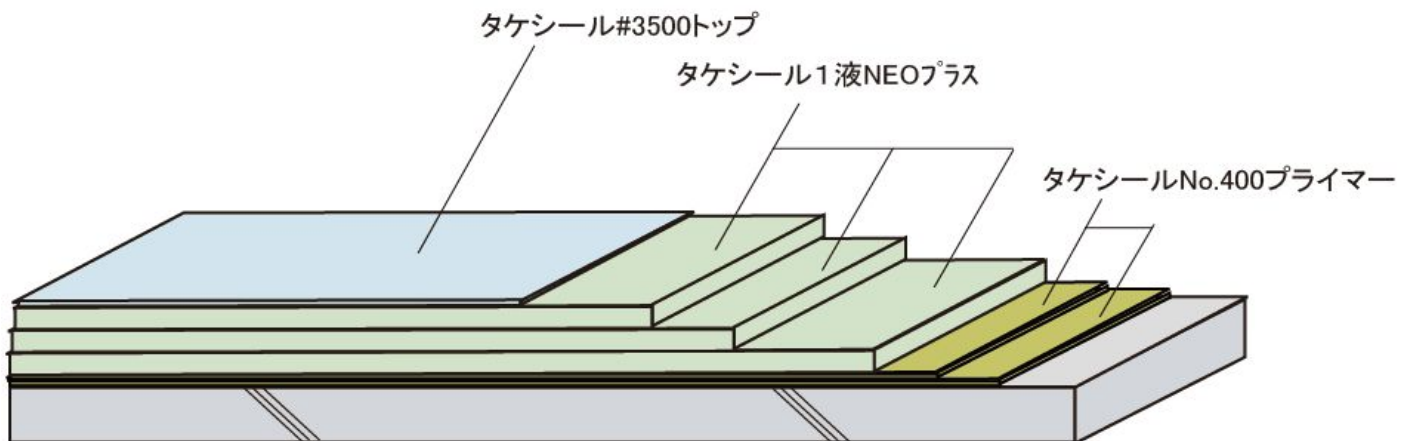


図-1. 施工図



## &lt;注意事項&gt;

- タケシール No.400 プライマーは湿気硬化型のウレタンプライマーですので、できるだけ液が空気に触れないようにして下さい。また、一旦缶から出した液は缶に戻さないで下さい。
- タケシール No.400 プライマーを塗布した後は1 2時間以内に次工程の塗装をしてください。また、タケシール No.400 プライマーを塗布後、雨水などに濡れた場合は、プライマー層の表面をサンドペーパー等で目あらしし、タケシール No.400 プライマーを再塗装した上で次工程の塗装をして下さい。塗装間隔があき過ぎたり、水に濡れたりするとプライマーの接着力が極端に低下します。
- タケシール1液NEOプラスは湿気硬化型の塗料ですので、できるだけ液が空気に触れないようにして下さい。また、一旦缶から出した液は缶に戻さないで下さい。
- タケシール1液NEOプラスの塗布は1度に(2.0kg/m<sup>2</sup>)行っても構いません。但し、立上り面は液ダレし、膜厚が薄くなりますので3回以上塗布することをお勧めします。
- タケシール#3500 トップは必ず秤を用い、重量比1:1(A液:B液)で混合してご使用下さい。
- タケシール#3500 トップは反応型のアクリルウレタン塗料ですので、A液、B液混合後は速やかに使用してください。A液、B液混合後2時間以上経過した液はご使用にならないで下さい。
- タケシール#3500 トップを重ね塗りする場合は必ず1 2時間以上塗装間隔をあけてください。
- タケシール No.400 プライマー、タケシール1液NEOプラス、タケシール#3500 トップはいずれも溶剤系(油性)の塗料ですので、絶対に水を加えないで下さい。アルコールを含むシンナーも絶対に加えないでください。また、用具の洗浄は専用シンナー「タケシール No.100 シンナー」をご使用下さい。
- 下地にクラック、伸縮目地がある場合は、タケシール1液NEOプラスを塗る際に補強クロスを貼り、補強して下さい。
- 旧塗膜がある(以前何か塗布している)場合は、旧塗膜が溶解し不具合が発生する恐れがあります。

